

平成28年度第1回流山市中小企業資金融資運営委員会 会議録

■日時：平成28年7月13日（火）10時30分から12時00分

■場所：庁議室

■出席委員：流山商工会議所専務理事 上坂 操
（敬称略） 千葉銀行流山支店長 豊田 浩司
流山商工会議所常議員 小山 忠士
市民代表 青木 俊雄
市民代表 中 政之

■事務局：流山市役所 経済振興部 部長 亀山 隆弘
次長兼商工振興課長 金子 孝行
商工振興課長補佐兼商工活性係長 柳 浩樹
商工活性係 主任主事 稲村 陽

■傍聴人：なし

■議題：

- 1 開会
- 2 委嘱状の交付
- 3 委員長の選出
- 4 報告事項
 - (1) 平成27年度融資実績について
 - (2) 平成28年度融資状況について
 - (3) セーフティネット保証認定状況について
 - (4) 他市の状況について
- 5 その他
 - (1) 創業支援について
 - (2) 最新の金融情勢等について
豊田委員（千葉銀行流山支店長）からの説明
- 6 閉会

■議事録：

- 1 開会（亀山部長）
- 2 委嘱状の交付
【井崎市長より委嘱状を交付】
- 3 委員長の選出
【事務局一任で上坂委員を選出】
- 4 報告事項
 - (1) 平成27年度融資実績について
 - (2) 平成28年度融資状況について
（事務局より説明）

委員長：代位弁済について1件あるとのことだが、どんな業種か？

事務局：衣類や下着、貴金属等の訪問販売等を行っている会社です。

委員：企業の業況が悪化した際の状況把握はどのように行っているのか？

事務局：返済期限を延期するなど、条件に変更が生じた場合は、「条件変更届」の提出を義務付けている。この届けをもとに、随時、金融機関等に確認を取り、状況把握を行っています。

（3）セーフティネット保証認定状況について

（事務局より説明）

委員：5号の指定業種の数については、増減があるとのことだが、どのような背景があるのか？少なくとも流山に関しては土木業・建設業の業況は良さそうだが。

事務局：国（経産省）の判断のもとに業種が指定されており、個別具体的な基準が示されているものではない。また、指定業種は全国一律となっていることから、地域の実情に即したのものにはなっていません。

委員：昨年も常総市で大規模な水害があったが、その際はこの業種も見直されるのか。

事務局：その際は、同じセーフティ4号の「突発的災害（自然災害等）」で救済されると思料されます。

（4）他市の状況について

（事務局から説明）

事務局：ただいまの説明に補足したい。市の規模により、件数・金額には相当の差があるが、同規模の市と比較しても、流山はやや少ないと見ています。

委員：千葉市では、借入期間に応じた融資利率については一定のパーセント以内、と定めているのみで、個別にリスクを見ながら、融資ごとに利率を設定している。利率について弾力的に運用できると、利用も増えるのではないかと思う。

委員：感想だが、制度融資を受けられるということは、会社の信用につながると考えているので、ぜひ推進して頂きたい。

成田市も規模からすると件数が多いとみられるが、事業者同士の情報交換が活発だと、

件数も伸びるのではないかと。

5 その他（１） 創業支援について

（事務局より説明）

委員長：「母になるなら流山」のフレーズのもとに人口が増えており、ビジネスチャンスが生まれていると認識している。

委員：どんな業種が多いのか？また、創業の場所にはどのような場所が選ばれるのか？

事務局：業種に関しては、「サービス業」に分類されるものが目立ちました。子育て中の女性が、「自分が感じる課題」からビジネスアイデアを組み立てて行くケースが多く、親子の居場所づくり、高齢者の居場所づくりといった、サロンやコミュニティスペースの開設といったものが目立ちました。その他、デザイナー、イラストレーターが多いのも特徴的でした。

場所に関しては、実際のケースとして、まずは流山おおたかの森周辺を考える方が多いのですが、賃料の高騰により、条件的に見あうものがないため、初石・江戸川台エリアや、南流山エリアで探すという状況です。

なお、創業スクールのカリキュラムでは、楽天市場から講師を派遣してもらい、インターネットを活用した女性の創業支援の成功例・失敗例について話を伺ったり、千葉県信用保証協会、日本政策金融公庫からも講師を派遣して頂いたりなど、起業や金融機関とも連携し、内容の充実を図りました。

事業の規模としては、大きくお金をかけずに、地域で展開していくものが主です。

商工会議所にも協力してもらい、専門家である経営指導員により、創業前からチェック・アドバイスしてもらうことにより、しっかりとした計画をもとに事業をスタートして頂くような流れを作っています。

委員：自分は生涯学習センターの英語のスクールに通っている。生徒にはおおたかの森に住む女性が多く、レベルの高い方が集まっていると感じている。

いっぽう、自分の住む豊四季駅周辺は空き家も目立ってきており、自治会でも問題になっている。おおたかの森からは一駅だが、状況には大きな違いがあると思う。「コミュニティホール」が起業場所として使えないかと考えている。

事務局：おっしゃる通りで、創業スクールでも、「場所」が大きな課題であると感じました。スクール生の中で、江戸川台に飲食店を出した方がいるが、この方の旦那さんがもともと飲食店をやりたいかつたこともあり、共同出資という形になっています。このような形でないとゼロから1人でお店を立ち上げる、というのは容易ではありません。

また、フリーランスの方に関しては、自宅を事務所として、営業をしていくことに不安を感じています。シェアオフィスやコワーキングスペース等、人と集って働くことができ、

かつ会社の登記などにも対応した場所に対するニーズが顕在化しています。

なお、市では商店街空き店舗活用事業等補助金の制度を見直し、対象者に創業者を追加したほか、家賃補助のみならず改装費も補助対象としました。商工会議所でも空き店舗の情報収集にあたっており、創業支援の観点からも連携し、活用していきたいと考えています。

(2) 最新の金融情勢等について 委員（千葉銀行流山支店長）からの説明

この数か月の最新の金利や為替、経済動向について

・国内景気について

GDPの2次速報+0.5%、年率換算で+1.9と上方修正された。

7月1日発表の日銀6月でも、短観景気の高まりを示す数値であった。

業況判断指数（d i）は+4で、3月に比べて3ポイント低下した。

円高により、訪日客の消費が鈍り、逆風が来る恐れがある。

注目される指数として、大企業製造業d iは+6で、3月から横ばいである。

企業が想定している為替よりも相当円高になっており、赤字リスクが高まっている。

非製造業の指数は+22から+19に低下している。2四半期連続低下である。訪日客の消費が鈍化しているのが影響している。

なお、これは6月16日時点の集計のため、イギリスのEU離脱問題の影響が織り込まれていない。実態はもっと悪いと思われる。

・中国について

1～3月GDP実質成長率は6.7%で、7年ぶりの低水準。

中国内の銀行では、3月末の不良債権が22兆円で、予備金は70兆円に上る（返済が滞っているが、担保のあるもの）

貸出しを絞るため、貸出金利規制を復活させるなどの策を講じている（下限4%）。

消費者物価指数は低水準で、全体的にあまり良い情報はない。

・日本の家計部門について

失業率は低水準で推移している。有効求人倍率は1.36倍で、人手不足感が高まっているという感触がある。また、正規雇用者では賃上げの動きがあり、雇用は改善している。しかしながら、消費者の財布のひもはまだ固く、例えば衣料品を中心に、大型小売店の業績は良くない。

消費税増税の先延ばしにより、駆け込み需要が期待できなくなり、今後も横ばいで推移すると思われる。

・その他指数について

1月から、金融緩和、マイナス金利導入、アメリカの利上げ観測、イギリスのEU問題、中国の経済低迷などさまざまな要因があり、株価、為替、金利の変動が目まぐるしい。

長期金利は日銀の金融緩和に加え、マイナス金利導入により7月8日には一時、マイナス0.285%となり、前代未聞の状況になった。

しかしこれによって市中にお金が回るかという点、効果は限定的という見方もあれば、まだ下がるという見方もあり、なかなか見通しが難しい。

・物価について

日銀は引き続き物価目標2%を目指しているが、現状、消費者物価指数は前年比でマイナス0.4%。3か月連続して下落している状況なので、先送りは間違いないと思われる。

・マーケットについて

思惑で動くものなので、予想がつかないのが正直なところ。

イギリス離脱の結果が出るとは、予想がつかなかったのが、皆さんの実感だと思われる。

6月24日には1ドル99円を記録し、日経平均も前日終値から1,286円も下がった。

その後は若干持ち直しているとはいえ、年初来から比較しても、大きく下がっている。

・千葉県内について

景気は横ばいである。個人消費は消費増の影響が一巡したが、中間層が低価格志向を強めている。

百貨店では主力の衣料品が前年割れしている。また、好調であった金貨や宝飾品類に陰りが生じている。

インバウンド関係では、成田が苦戦しているものの、ベイエリアのホテルの客室稼働率は高水準で推移している。

有効求人倍率はバブル期なみの高水準で、雇用環境に関しては、千葉県内は良い状況。

いっぽう、輸出が前年割れをするなど、海外経済の減速の影響が見られる。

以上である。今後も、地域金融機関として、地域のニーズをとらえて、市・会議所と連携しつつ、お手伝いしていきたい。

※最後に事務局から事務連絡があり、閉会となった。

以上